

第2学年 ESD・生活科学習指導案

橋本市立紀見小学校

木村 祥子

(1) 単元名 もっと知りたいな町のこと

(2) 単元目標

自分たちが住む町を探検し、町の自然、人々、公共物などに関心をもつとともに、自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることがわかり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができる。

【生活への関心・意欲・態度】

自分の生活している町に関心をもち、様々な場所に親しみをもってかかわったり、友達と協力して気になることについて調べることができる。

【活動や体験についての思考・表現】

様々な場所と適切にかかわることや、町探検で発見したことや気づいたこと、調べたことを自分らしい方法で表現したりすることができる。

【身近な環境や自分についての気付き】

町の自然などの様子や、自分たちの生活とのかかわりに気付くとともに、自分の町のよさに気付いている。

(3) 単元について

・児童観

好奇心旺盛で、教科書等に出てくる初めて見たり聞いたりする言葉や珍しいものに、興味を持ち、気になったものについては、教師に質問する児童も多い。インターネットなどを使って家で調べてくる児童もいる。

生活面では、セミの抜け殻や脱皮したてのセミをみつけてくるなど子どもならではの発見をしてくる。ミニトマトを育てた時も、ミニトマトの少しの成長も周囲の児童と共有し喜んでいた。本単元でも、杉村公園で、木の実やきのこなどなかなかこちらが気がつかないような視点で探検をすることができていた。

学習面では、自分の思ったこと、考えたことを言葉にするのが苦手な児童もいるが、紙に書いて整理するなどしながら上手に発表することができるようになってきている。

国語の時間から、話し方や感想の言い方などを学習し、朝の会や帰りの会など、普段の生活でも活用できるようになっている。

・教材観

1年生までは、活動範囲が校内であったが、2年生に進級して、活動範囲を自分たちが生活している町に広げて、町の自然や人々・社会とのかかわりをいっそう深めた

いと考えて、5月には自分の家の近くにある公園をクラスみんなに紹介した。

そして、6月に町探検を行い、いろいろな店を見学し、自分の住む町にある店の工夫している点や、普段疑問に思っていることなどを実際に店の人に聞き、互いに発表し合う学習をしてきた。

9月からは自分たちの校区にある大きな杉村公園について公園の魅力を見つけようという学習を進めてきた。

・指導観

自分たちの身近には、遊具だけでなくいろいろな生き物が生息している大きな杉村公園がある。その公園の隣にある紀見小学校に通う本校児童には、その公園をもっと身近に感じてほしいと思い本単元を選択した。幾度か杉村公園へ探検をしていく中で、夏から秋に変わっていく自然の移り変わりについて五感を使って気付いてもらいたい。

そして児童が公園の中の様々なことに興味を持ち、本などを用いて調べる方法を学ぶきっかけとしてもらいたい、と考えた。様々なことに興味を持ってもらうために、杉村公園を何度か探検をし、児童たちになじみのありそうな生き物を見つけたら声をかけるようにした。学校に帰ってから、児童自身が探検をして気になったものを本で調べるようにし、本の選び方や目次を活用した本の使い方、調べ方についても少しずつ学習していった。

発表の仕方については、国語の時間を中心に朝の会や帰りの会なども活用しながら大きな声で発表すること、はじめ・中・終わりの三段構成で文をつくることを常に意識させている。しかし、なかなか定着させるにはむずかしさを感じている。

友だちが発表したことについての付け足しや意見などの言い方についても、発表する時に「〇〇さんと似ていて」や「〇〇さんと違うけど」と言ってから、発表するように指導している。

・ESDの観点

本単元では、ESDの視点のうち、実態概念に気付かせることができる。杉村公園の探検を通して、生き物の多様性や循環性に気付かせることができるだろう。杉村公園の周遊コースとして3コースあるのだが、それぞれ違う特徴のあるコースである。そのため、ここで育てられる能力として、3つのコースを比べることでシステムズ・シンキングの向上ができるのではと考える。また、そのコースごとの違いを見つけるために友だちとのコミュニケーションも大事にしたいと考えるので、コミュニケーション力も向上するだろう。

(4) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
町の自然などの様子や、自分たちの生活とのかかわりに気付くとともに、自分の町のよさに気付いている。	様々な場所と適切にかかわることや、町探検で発見したことや気づいたこと、調べたことを自分らしい方法で表現したりすることができる。	自分の生活している町に関心をもち、様々な場所に親しみをもってかかわったり、友達と協力して気になることについて調べることができる。

(5) 単元展開の概要 (全21時間)

次	時	主な学習活動(○)と学習活動(・)	学習への支援(●)と評価(◇)
1	2	○杉村公園で遊ぼう。 ・杉村公園へ「遊び」の「すてき」を見つけに行く。	◇杉村公園について関心を持つことができる。
2	2	○杉村公園に行こう。 ・杉村公園へ探検に行き、杉村公園全体の「すてき」を見つけに行く。	◇杉村公園について関心をもち、様々な場所やものに関心を持つことができる。
	3	○気になったことを調べてみよう。 ・杉村公園に行き、発見したこと、気づいたことをカードにまとめ、その中で調べてみたいものについて、本を用いて調べる。	●本を使った調べ方を注意してみる。 ◇友達と協力して気になることについて調べることができる。 ◇調べたことを自分らしい方法で表現することができる。
	1	○お友達に教えてあげよう。 ・自分の見つけた「すてき」をみんなに発表する。	●話の聞き方についての指導。 ◇公園探検で発見したことや気づいたこと、調べたことを自分らしい方法で表現したりすることができる。 ◇自分たちの生活とのかかわりに気付くことができ、杉村公園のよさに気付いている。
3	2	○杉村公園に探検に行こう。 丸尾橋を渡ってみよう。 ・前回の探検には通らなかった丸尾橋をコースの中に入れ、新しく通った道も含めて杉村公園の「すてき」を見つけに行く。	◇杉村公園について関心を持つことができる。
	1	○気になったことを調べてみよう。 ・杉村公園に行き、気になったことを友達と協力しながら本で調べて、カードにまと	◇友達と協力して気になることについて調べることができる。 ◇調べたことを自分らしい方法で表現する

		める。	ことができる。
	1	○班のみんなに教えてあげよう。 ・自分の見つけた「すてき」を班のみんなに発表する。	発表を聞いている人は質問や感想を言う。 ◇公園探検で発見したことや気づいたこと、調べたことを自分らしい方法で表現することができる。 ◇自分たちの生活とのかかわりに気付くことができ、杉村公園のよさに気付いている。
4	2	○杉村公園に探検に行こう。 郷土資料館の中を見てみよう。 ・通常コース（2次の探検で通るコース）に郷土資料館を見学することを加え、そのことも含めて杉村公園の「すてき」を見つけに行く。	◇杉村公園について関心を持つことができる。
	1	○号車のみんなに教えてあげよう。 ・自分の見つけた「すてき」を号車のみんなに発表する。 発表を聞いている人は質問や感想を言う。	◇公園探検で発見したことや気づいたこと、調べたことを自分らしい方法で表現したりすることができる。 ◇自分たちの生活とのかかわりに気付くことができ、杉村公園のよさに気付いている。
5	2	○杉村公園に探検に行こう。 今までと違った杉村公園を見つけに行く。 ・今まで通らなかった道を通ったり、一番初めの探検で行った遊具でもう一度遊ぶ、杉村公園の「すてき」を見つけに行く。	●季節の流れから木の葉の色の変化など着目するポイントなどを話す。 ◇杉村公園について関心を持つことができる。
6	1	○一番みんなに知らせたいことを選んで、発表カードに書こう。 ・今まで見つけてきた「すてき」の中から自分が一番「すてき」だと思うことを選び発表カードに書く。	◇工夫してカードに表現することができる。
	3	○みんなで地図を完成させよう。 ・みんなの「すてき」を集めて、真っ白な杉村公園の拡大地図に貼り付け、杉村公園の探検地図を完成する。	◇公園探検で発見したことや気づいたこと、調べたことを自分らしい方法で表現することができる。 ◇自分たちの生活とのかかわりに気付くことができ、杉村公園のよさに気付いている。